

## 令和3年度冬季全国大会要項

第2版(12月8日更新)

## 1. 大会概要

名 称	第50回全日本学生将棋十傑戦(学生王将戦) 第42回全日本学生将棋女流名人戦 第52回全日本学生将棋団体対抗戦(学生王座戦)
主 催	全日本学生将棋連盟
後 援	朝日新聞社・日本将棋連盟・四日市市
協 力	日本アマチュア将棋連盟・株式会社トリプルアイズ
日 程	2021年12月22日(水)～12月26日(日) 22日～24日に学生王座戦を行い、25・26日に学生王将戦及び女流名人戦を行う (会場確保の都合上、開催順序が例年と入れ替わっているためご注意ください) ※新型コロナウイルスの感染状況により、やむを得ず中止とする場合がございます
会 場	四日市市文化会館 ( <a href="https://yonbun.com">https://yonbun.com</a> ) 学生王座戦 …第1展示室 ABCD 学生王将戦・女流名人戦…第1展示室 AB

## 2. タイムテーブル

日付	学生王座戦	日付	学生王将戦	日付	女流名人戦	
12月22日	9:30 会場集合	12月25日	9:30 会場集合	12月26日	9:30 会場集合	
	9:50 オーダー表提出		9:35 組み合わせ抽選		9:35 組み合わせ抽選	
	10:00 開会式		9:45 開会式		9:45 開会式	
	10:15 1回戦開始		10:00 予選一回戦		10:00 予選一回戦	
	13:00 2回戦開始		12:30 予選二回戦		12:30 予選二回戦	
12月23日	15:00 3回戦開始	12月26日	13:00 予選二回戦	12月26日	14:00 予選三回戦	
	9:30 会場集合		15:00 予選三回戦		15:30 予選四回戦	
	10:00 4回戦開始		12月26日		9:45 会場集合	9:45 会場集合
	13:00 5回戦開始				10:00 準々決勝	10:00 準々決勝+逆シード
15:00 6回戦開始	11:30 準々決勝残り	11:30 準々決勝残り (逆シード終了次第開始)				
12月24日	9:30 会場集合	13:00 準決勝	13:00 準決勝	12月26日	13:00 準決勝	
	10:00 7回戦開始	15:00 決勝	15:00 決勝		15:00 決勝	
	13:00 8回戦開始	17:30 表彰式	17:30 表彰式		17:30 表彰式	
	15:00 9回戦開始	18:00 解散・撤収	18:00 解散・撤収		18:00 解散・撤収	
	17:30 表彰式・閉会式					
18:00 解散 (終了後、会場配置転換)						

※今後変更となる場合がございます、当日の進行により時間が前後する場合がございます。

## 3. 代表選手・代表大学

## 【学生王将戦】(16名)

- 北海道地区 北川廉 (北海学園大学4年)  
 東北地区 本間瑞生 (山形大学5年)  
 関東地区 銭本裕生 (早稲田大学4年)・山本悠介 (横浜国立大学3年)  
 天野倉優臣 (東京大学3年)・藤井崇史 (慶應義塾大学3年)  
 北信越地区 齋藤福実 (新潟大学2年)  
 中部地区 安田義崇 (静岡大学3年)・磯貝仁太郎 (名城大学2年)  
 関西地区 木村孝太郎 (立命館大学4年)・大宮健太郎 (立命館大学1年)  
 中四国地区 柳田峻太 (山口大学2年)・中島蒼生 (岡山大学2年)  
 佐藤僚太 (島根大学4年)  
 九州地区 野口遥暉 (北九州市立大学2年)  
 招待選手 齋藤玲緒 (慶應義塾大学4年)

## 【女流名人戦】(18名)

- 東北地区 松本咲重 (山形大学1年)  
 関東地区 森美怜 (神奈川大学2年)・宮澤紗希 (中央大学2年)  
 竹中歩美 (東洋大学1年)・磯谷祐維 (国士舘大学1年)  
 大城千花 (国士舘大学1年)  
 北信越地区 鈴木幸恵 (信州大学1年)  
 中部地区 木村野乃花 (名古屋市立大学3年)・加藤精華 (愛知学院大学4年)  
 可児春日宮 (愛知教育大学4年)  
 関西地区 川上菜摘 (大阪経済大学1年)・上田可奈子 (関西大学1年)  
 山下葉夕 (同志社女子大学1年)・立藤真祐子 (同志社女子大学1年)  
 大川すみれ (立命館大学1年)  
 中四国地区 小林彩乃 (川崎医療福祉大学1年)  
 九州地区 大塚玲奈 (西南学院大学1年)・森菜々美 (香蘭女子短期大学1年)

## 【学生王座戦】(10校)

- 北海道地区 北海学園大学  
 東北地区 東北大学  
 関東地区 早稲田大学 (第一代表)・東京大学 (第二代表)  
 北信越地区 金沢大学  
 中部地区 静岡大学  
 関西地区 立命館大学 (第一代表)・京都大学 (第二代表)  
 中四国地区 徳島大学  
 九州地区 九州大学

## 4. 大会形式

### 【学生王将戦】

#### <予選>

- ① 2勝通過、2敗失格とする。
- ② 抽選により16名をA・B・C・Dの4組に分ける。但し、一回戦で同一地区の選手は対戦しない。
- ③ 予選一回戦は、各組の1番と2番、3番と4番が対戦する。
- ④ 予選二回戦は、各組の勝者同士および敗者同士が対戦する。
- ⑤ 予選三回戦は、1勝1敗の8名によって行う。組み合わせは改めて抽選を行い決定する。

#### <決勝トーナメント>

- ① 本戦トーナメントは、予選通過者8名によって行う。
- ② 同様に9位・10位決定戦は、予選敗退者8名によって行う。
- ③ 組み合わせは予選終了後に抽選で決定する。但し、本戦トーナメントは予選2連勝者と2勝1敗通過者、9位・10位決定戦は予選2連敗者と1勝2敗敗退者が一回戦で当たるよう調整する。
- ④ 本戦トーナメントの優勝者が学生王将となる。同様の方法で2位から10位も決定する。

### 【女流名人戦】

#### <予選>

- ① スイス式トーナメント方式（4回戦）で行う。但し、一回戦で同じ大学の選手は対戦しない。
- ② 成績上位者8名を通過とする。勝ち数が同じ場合はソルコフにより順位を決定する。

#### <本戦トーナメント>

- ① 本戦トーナメントは、予選通過者8名によって行う。
- ② 同様に9位・10位決定戦は、予選敗退者によって行う。
- ③ 本戦トーナメントの組み合わせは予選の結果に基づいて決定する。具体的にはトーナメント表の左から、予選の1位対8位・4位対5位・2位対7位・3位対6位という組み合わせとする。
- ④ 本戦トーナメントの優勝者が学生女流名人となる。同様の方法で2位から10位も決定する。

### 【学生王座戦】

- ① 7人制の団体戦とし、代表校10校による総当たりリーグ方式（全9回戦）で行う。
- ② 選手の登録人数は十四名以内とし、オーダー用紙に補欠選手を含めた大会出場予定の選手を全て書き入れ第一試合のオーダー交換で公開する。以後、登録選手の変更及び付け足しは認めない。
- ③ 試合は各チームの代表者が自チームの登録選手の中から七名を選出して行う。出場選手の選出は必ずオーダー交換以前に行われなければならない。また出場選手は必ず登録配列順序を守らなければならない。選手の呼称は大將、副將、三將以下数字將とする。
- ④ 対戦の順番は前回大会の各地区順位に基づき、通常のリーグ対戦法により行う（下図参照）。
- ⑤ 順位は勝点制に従って決定し、勝点・勝数がともに等しい場合は、前回の地区成績順位に従う。  
なお、同一地区の二校で勝点・勝数がともに等しい場合は、秋季大会のA級優勝校を優先する。
- ⑥ 先後は大將席の振り駒によって決定する。以下、三將、五將、七將が大將と同じ、副將、四將、六將が大將と逆の先後を得る。

順位	地区	大学	22日(火)			23日(水)			24日(木)		
			1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R
1	関東①	早稲田大学	北海学園	九州	徳島	金沢	静岡	東北	京都	東京	立命館
2	関西①	立命館大学	九州	徳島	金沢	静岡	東北	京都	東京	北海学園	早稲田
3	関東②	東京大学	徳島	金沢	静岡	東北	京都	北海学園	立命館	早稲田	九州
4	関西②	京都大学	金沢	静岡	東北	北海学園	東京	立命館	早稲田	九州	徳島
5	東北	東北大学	静岡	北海学園	京都	東京	立命館	早稲田	九州	徳島	金沢
6	中部	静岡大学	東北	京都	東京	立命館	早稲田	九州	徳島	金沢	北海学園
7	北信越	金沢大学	京都	東京	立命館	早稲田	九州	徳島	北海学園	静岡	東北
8	中四国	徳島大学	東京	立命館	早稲田	九州	北海学園	金沢	静岡	東北	京都
9	九州	九州大学	立命館	早稲田	北海学園	徳島	金沢	静岡	東北	京都	東京
10	北海道	北海学園大学	早稲田	東北	九州	京都	徳島	東京	金沢	立命館	静岡

## 5. 対局規定

- ◆対局者は品位と礼儀を重んじ、見苦しい態度や相手をして不愉快たらしめる言動は慎み正々堂々と対局しなければならない。
- ◆全ての対局はチェスクロックを使用し、持ち時間はいずれも30分切れたら60秒で対局を行う。
- ◆同一局面が四回出現した場合は千日手とする。但し、連続王手の千日手は王手をかけている方が指し手を変えなければならない。
  - ・1度目の千日手が成立した場合、先後を入れ替えてすぐに指し直しとする。
  - ・千日手指し直し局の持ち時間は各対局者の残り時間とする。但し、片方または両方の対局者の持ち時間が10分未満の場合は、少ない方の持ち時間が10分になるよう双方追加する。但し、大会進行に大幅な遅れが生じている場合は、委員長が臨機に判断し追加する時間を変更する。
  - ・千日手指し直し局も千日手となった場合、学生王将戦及び女流名人戦は抽選で勝敗を決定し、学生王座戦は半勝半敗とする。但し、学生王将戦及び女流名人戦の準決勝以降の対局に限り、勝敗が決するまで指し直す。
- ◆持将棋は大駒を5点、小駒を1点として数え、以下で実施する。また、入玉宣言法も採用する。なお、判定の時期は大会の進行状況を考慮して運営陣が協議の上決定し裁定を行う。
  - ・学生王将戦及び女流名人戦 …27点法を採用し、同点の場合は後手勝ちとする。
  - ・学生王座戦 …24点法を採用し、双方が条件を満たす場合は半勝半敗とする。
- ◆禁手を指した者はただちに投了しなければならない。又指した者がそれに気が付かない場合は、対戦者及び記録係又は観戦者がこれを示し、禁手を指した者は直ちに投了しなければならない。但し、対局観戦者のいずれもが対局終了までそれに気が付かなかった場合は、その禁手が試合中に指されたことが明らかにわかる場合を除いて、投了優先として禁手は無効とする。
- ◆着手は動かされた駒が手より離され盤の上に置かれた時とする。但し、駒を盤の上に落とすなどの事故はこの範囲ではない。

- ◆遅刻は10分で負けとする。10分未満の遅刻はその3倍を持ち時間から引いて対局を開始する。
- ◆対局者は対局中全ての電子機器の電源を切る。違反が発覚した場合は、罰則を課す場合がある。
- ◆観戦者の検討ソフトの使用は禁ずる。違反が発覚した場合は、罰則を課す場合がある。
- ◆オーダー表の提出期限は原則対局開始の10分前迄とする。2回の遅刻で次戦0-7負けとする。
- ◆座席の座り順や出場選手の誤りは、発覚次第、対局結果に関わらず当該大学を0-7負けとする。
- ◆その他支障が生じた場合は委員長の判断を最優先とする。指示に従わない者は参加資格を失う。
- ◆以上の規定の他は、日本将棋連盟の対局規定に従う。

## 6. 選手の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

### 【開催前後について】

- ◆大会前後の移動および大会期間中は、各自で感染対策を万全にとってください。
- ◆各自で新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA等)の導入にご協力をお願いいたします。
- ◆万が一感染者が発生した場合に備え、大会参加者の氏名と緊急連絡先を確認いたします。  
大会当日は、参加者名簿の作成にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。
- ◆発熱や咳症状がみられるなど、体調がすぐれない方は参加を自粛ください。また、大会期間中に新型コロナウイルス感染が疑われる症状が出た場合は、速やかに運営陣にご連絡ください。
- ◆万が一大会終了後2週間以内に新型コロナウイルスへの感染が確認された場合は、各地区の代表を通じて運営陣にご連絡ください。

### 【会場について】

- ◆大会当日は大会関係者のみが立入可能です。一般の方の入場はできませんのでご了承ください。
- ◆大会当日はマスクの着用・手洗い・手指消毒・検温へのご協力をお願いいたします。当日の検温において37.5℃以上の熱がある場合は、入場および対局を認めない場合があります。
- ◆大会会場内での食事はご遠慮ください。また、ペットボトル等のゴミは持ち帰ってください。
- ◆会場の1階に共用スペースがありますが、荷物を置くなどして占拠する行為はお止めください。  
また、共用スペースで将棋を指す行為も他の利用者の迷惑になるためお止めください。

### 【対局について】

- ◆対局の前後には、各自手指の消毒を行っていただきますようご協力ください。
- ◆飛沫感染防止のため感想戦はすぐに切り上げ、結果報告が必要な場合は迅速に行ってください。
- ◆学生王将戦・女流名人戦および学生王座戦の大將戦の対局においては例年棋譜を記録しますが、密回避の観点から記録係をつけるかは検討中です。記録係を付けない場合、対局者は対局終了後にアプリ等を用いて各自で棋譜を提出いただくことになります。詳細は当日お伝えいたします。
- ◆対局中の観戦や戦型チェック等については、人数や時間に制限の上で認める方向で検討中です。  
詳細については当日告知いたしますので、ルールを守っての実施にご協力ください。
- ◆密回避の観点から、特に団体戦において、残った対局を大勢でとり囲む行為はお止めください。
- ◆対局中は挨拶・投了以外の発声を極力避け、観戦中・待機中は大声での会話はご遠慮ください。  
また、マスク無しでの会話は厳禁とします。

## 7. 新型コロナウイルス対策について

幸いなことに、現在の各地の感染状況はピーク時と比較して落ち着きを見せています。しかし、依然として今後の情勢は不透明であり、大会が開催される年末にかけて再び感染が拡大する可能性も十分に考えられることから、新型コロナウイルス対策については万全を期す所存です。

選手の皆様には「6. 選手の皆様へのごお願い」に記載された注意事項にご協力いただくとともに、運営陣としても以下のような対策を実施した上で本大会を開催いたします。

- ◆密回避のため学生王座戦では例年の2倍の広さの部屋を確保しています。通常時は400名程度を収容可能な広さであり、十分な間隔を保った上で対局スペースおよび待機スペースを確保できると考えております。
- ◆国県市の方針に基づいて設定された会場の基準を遵守し、参加者の人数制限を実施いたします。具体的には会場への入場立入を大会関係者のみに制限することで、可能な限り密を避けることができるよう工夫をいたします。
- ◆特に団体戦においては、例年対局者の周りで戦型チェックや棋譜取りを行ったり、最後に残った1局を大勢で囲んだりすることで密な状態が発生することがあります。それらの対応策として、必要に応じて観戦及び戦型チェックを行う人数や時間帯を制限したり、棋譜取りを対局終了後に自身で記録いただくようお願いしたりすることを検討しております。対局中においても密な状況を作らないよう工夫をいたします。
- ◆参加者へのマスクの着用を義務付けるとともに、会場内のアルコール消毒の設置や換気の実施、運営陣も含めた入場時の検温などを徹底いたします。
- ◆大会で使用する盤・駒・時計等の備品については、定期的に消毒や清掃を実施いたします。
- ◆万が一感染者が発生した場合に備え、参加者名簿を作成することで連絡先等を把握いたします。